

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



サポチル

NPO法人 子どもの心理療法支援会

子どもの精神分析的心理療法・臨床セミナーIn関東
事務局

〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-1-25-107

e-mail : info-kanto@sacp.jp

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 主催

子どもの精神分析的心理療法・臨床セミナー In 関東2019

ごあいさつ

子育ては、少子化の現実のなかで益々これからの社会の活力につながるという意味でその重要性が認識されています。心理臨床においても、学校現場、児童福祉施設、病院その他の現場において、子どもの臨床の質の向上がこれまで以上に望まれています。こうした中で、一人一人の子どもの心を大切に、じっくりと考えていく精神分析の取り組みは、子どもと関わる心理臨床家にとって大いに役立つと思われたいと思います。私たちサポチルは、関西の地で、子どもの精神分析的な心理療法の実践と訓練の普及に努めてきました。また同時に、スクールカウンセラーや児童養護施設や教育センターで働く心理士など様々な臨床現場で働く心理臨床家の研修活動も行ってきました。こうしたノウハウを生かして、私たちサポチルは、関東の地においても子どもの精神分析的な心理療法実践の普及に努めていく試みを行っています。その一環として、この度、子どもと関わる心理臨床家の臨床実践に役立つような、子どもの精神分析セミナーを企画いたしました。これらは、子どもの精神分析的な心理療法実践を行っている方だけでなく、広く子どもの心理臨床に関わる方に役立つ内容です。皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。

理事長 平井正三

2019年度 臨床セミナー

子どもと青年の精神分析的な心理療法プロセス

第1回 2019年4月28日(日)

「不適切な養育環境で育った子どもの心理療法プロセス」

講師: 生地新先生

第2回 2019年6月23日(日)

「不適切な養育環境で育った青年の心理療法プロセス」

講師: 奥寺崇先生

第3回 2019年8月4日(日)

「子どもの親面接のプロセス」

講師: 津田真知子先生、話題提供: 南里裕美先生

第4回 2019年10月27日(日)

「ワークディスカッションのプロセス」

講師: 鈴木誠先生

第5回 2019年12月22日(日)

「自閉スペクトラム症の子どもの心理療法プロセス」

講師: 平井正三先生

第6回 2020年2月23日(日)

「自閉スペクトラム症の青年の心理療法プロセス」

講師: 福本修先生

対象者: 臨床心理士、医師、それに準ずる専門家、大学院生・研修生

定員数: 70名

受講料: 40,000円(全6回) * 単回申込は受け付けておりません。

会場: 大妻女子大学千代田キャンパス(予定)

時間: 13時~16時45分 (前半【講義・質疑応答】、後半【事例検討】)

* 緊急時の連絡に関する記載が本案内の最後に記載してありますので、ご確認下さい。

第1回 「不適切な養育環境で育った子どもの心理療法プロセス」

講師: 生地 新 先生

不適切な養育環境の中で育つことで、発達を阻害する倒錯的領域を子どもは抱えることになる。子どもとよい関係を作ることを急いで倒錯的領域を無視すると、セラピーは行き詰まる。私たちは、アセスメントしながら健康な領域を見つけ出し、柔軟だが揺るがない設定を作る必要がある。外傷体験や倒錯的領域が治療関係の中に立ち現れた時、背景にある子どもの痛みや悲しみを感じ取り、それを解釈の言葉に組み入れることが求められる。

第2回 「不適切な養育環境で育った青年の心理療法プロセス」

講師: 奥寺 崇 先生

縁あって外傷性障害の治療にかかわりを持ち30年以上たった現在、実のところ何に取り組んできたのだろうか、と考え込んでしまうことがかえって増えたように思われる。その理由はひとえに人間存在の深淵によるのだが、この尽きないテーマについて3つの視点をもとに検討を深め、更なる疑問をセミナーでは提示したい。トピックとして、「岩盤」、「毒親」、「親殺し」について取り上げる。生来の気質、親とは、親を克服するとは実のところどのようなことなのだろうか、この本質的なテーマを臨床的に探って行きたいと考えている。

第3回 「子どもの親面接のプロセス」

講師: 津田 真知子 先生、話題提供: 南里 裕美 先生

親面接は、子どものために、また子どものセラピーを守るために面接者と親とのパートナーシップを築いていくところにあります。そのためにインテーク面接、合同面接、並行面接等の中で、親が子どもを理解し、抱えていける心の空間を育めるようにしていくワークが親面接のプロセスといえるでしょう。実際の親面接でどのようにそれが進んで行くのか、多様な面接形態を含めて提示したいと思います。

第4回 「ワークディスカッションのプロセス」

講師: 鈴木 誠 先生

グループの中にいて、そのプロセスを捉えるのは、簡単ではありません。それは強烈な投影同一化に曝されている渦中で、転移に気づくことにどこか似ています。そうした状況で、「考えるスペース」を創出する観点には、ワークディスカッションに固有のもの、集団心性や集団力動、個人心理療法の着想があります。当日は、心理療法とワークディスカッションのセッションを提示して、このテーマについて探索していきたいと思います。

第5回 「自閉スペクトラム症の子どもの心理療法プロセス」

講師: 平井 正三 先生

自閉スペクトラム症を持つ子どもに対しても心理療法が役に立ち、大きく変わっていく子どもがいることは以前から知られていました。心理療法アプローチを通じて、子どもがどのように変わっていけるのか、そしてその変化にはどのような意味があるのか、そうした問題を具体的な事例を通じて、このセミナーでは考えていければと思います。

第6回 「自閉スペクトラム症の青年の心理療法プロセス」

講師: 福本 修 先生

思春期・青年期にはアイデンティティの形成が大きな発達課題であり、それ以前の課題が達成されているかどうかを試される。そこには更に、精神病理と特性の影響が加わる。心理面接上、自閉スペクトラムの問題に関しては、3種の水準に分けて捉えることが役立つかもしれない。一つは狭義のASD、もう一つはAS特性(障害ではないAS=ASWD)、そして或る程度普遍的なAS心性である。

◆セミナー講師のご紹介(五十音順)

生地 新 先生

1986年山形大学大学院医学研究科博士課程修了。同大学附属病院講師・日本女子大学人間社会学部助教授を経て2007年から北里大学大学院医療系研究科教授。日本精神分析学会運営委員・同学会認定スーパーバイザー。専門は児童青年期臨床。

奥寺 崇 先生

群馬大学医学部卒後、同附属病院助手、医学部学内講師。その間Menninger School of Psychiatry、Tavistock& Portman NHS Trustに留学、帰国後、赤城高原ホスピタル副院長、国立精神神経センター武蔵病院院長を経て、世田谷経堂にて個人開業。

鈴木 誠 先生

名古屋大学医学部精神医学教室卒後研修修了。現職、くわな心理相談室主宰。日本精神分析学会認定心理療法士・スーパーバイザー。

津田 真知子 先生

奈良女子大学修士課程修了。関西心理センター・谷町こどもセンター所長、顧問を経て現在、大阪心理臨床研究所代表。NPO法人子どもの心理療法支援会副理事長。国際精神分析協会認定精神分析家(日本精神分析協会準会員)、日本精神分析学会認定スーパーバイザー。

南里 裕美 先生

京都府立医科大学大学院単位取得退学。医療機関等の勤務を経て、現在は大阪心理臨床研究所に勤務。NPO法人子どもの心理療法支援会認定子どもの精神分析的な心理療法士、臨床心理士。

平井 正三 先生

京都大学教育学部博士課程指導認定退学、1990年～1997年タビストック・クリニック児童家族部門留学、児童青年心理療法士資格取得。京都光華女子大学助教授などを経て、御池心理療法センター代表、大阪経済大学客員教授、NPO法人子どもの心理療法支援会理事長。

福本 修 先生

東京大学医学部医学科卒業。タヴィストック・クリニック(ロンドン)M1成人精神分析的精神療法部門修了。恵泉女学園大学名誉教授、代官山心理・分析オフィス、日本精神分析学会認定スーパーバイザー、日本精神分析協会訓練分析家。

◆サポチル関東の紹介

現在、サポチル関東は、以下の専門会員メンバーで運営しております。

関東理事： 脇谷 順子

関東事務局： 上田 順一

臨床セミナー担当： 小笠原 貴史、吉沢 伸一

研修プログラム担当： 熊田 知佳、中岡 裕美
(五十音順)

◆サポチル認定資格関連(関東)

・子どもの精神分析的な心理療法指定スーパーバイザー

脇谷 順子

・子どもの精神分析的な心理療法特別指定スーパーバイザー

奥寺 崇 木部 則雄

・子どもの精神分析的な心理療法士

小笠原 貴史 熊田 知佳

(五十音順)

セミナー申込について

■定員数: 70名

■対象者: 臨床心理士、医師、それに準ずる専門家、大学院生・研修生

■受講料: 40,000円

■ 申込み方法

1. 以下の手順に従い、メールにてお申し込みください。

タイトルを「2019サポチル関東・臨床セミナー参加申込」とし、以下の必要事項を記載し、サポチル関東事務局宛て「info-kanto@sacp.jp」にメールを送ってください。

◆必要事項: ①氏名(ふりがな)、②所属、③職種(臨床心理士、医師、大学院生・研修生、その他)、④E-mail アドレス(携帯アドレスは不可。緊急時に確認可能なアドレス)



2. 参加申込メールの確認後、事務局より、「申込受付メール」にて振込先口座および振込期日をお知らせします。

◆お振込 受講料40,000円

※振込期日を過ぎた場合は、お申込みはキャンセルとして取り扱わせていただきます。

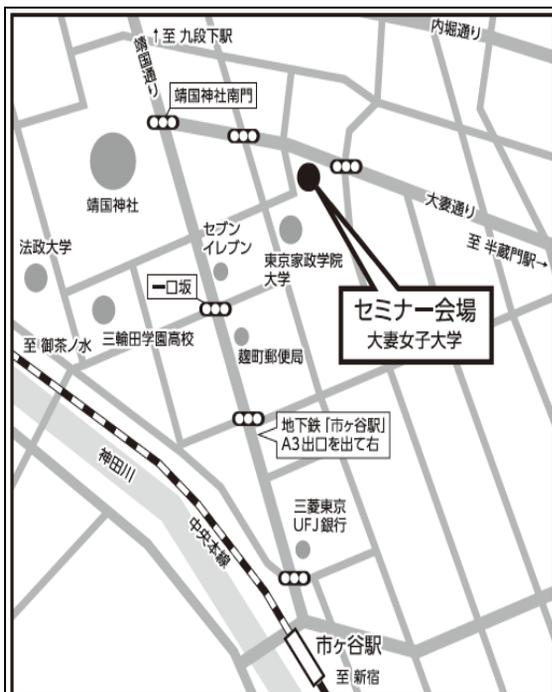
※お振込み後、受講生の事情でキャンセルする場合、受講料の返金には応じられません。



3. 事務局より、「振り込み確認+受講受理完了メール」を送信します。

申し込み締め切りは2019年2月28日(木)

セミナー会場



会員募集中!! 2019年度研修プログラム開催予定!!

◆専門会員・賛助会員・ボランティア会員の募集

サポチルの事業推進に関わり、企画運営する各種活動にご協力いただける方を募集しています。

申込方法はHPをご覧ください(URL: <http://sacp.jp/>)

◆各種研修のお知らせ

・2019年度も引き続き、奥寺崇先生の少人数制グループスーパービジョンや、文献講読セミナーなどを開催予定です。

・新企画として、脇谷順子先生による「アセスメント・セミナー」が開催されます。

・サポチル会員限定の学びの場として、「サポチル関東研究会」を開催しております。

* 詳細および申込方法については、別途案内をご覧ください。

* いずれの研修プログラムもサポチル専門会員が優先されます。

◆各種お問い合わせ先:

サポチル関東事務局(info-kanto@sacp.jp)

◆緊急時の連絡について

自然災害などにより、セミナーを中止(延期)せざるを得ない事態が生じる場合があります。当日午前7時までは、開催の可否を事務局からメールでお知らせさせていただきます。なお、一斉メールが届かない場合もありますので、サポチル関東のツイッターでもお知らせ致します。必ずご確認ください。

(セミナー申込時に必要なメールアドレスは可能な限り、普段確認できる連絡先にさせていただけると助かります。)